

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成30年11月定例会の内容をお届けします。

2019
No. 67

平成31年2月15日発行



特集

稲荷町屋台保存会
お囃子連「稲宮会」
と
市議会

特集

稲荷町屋台保存会 お囃子連「稲宮会」 と 市議会

稲荷町屋台保存会
お囃子連「稲宮会」の
皆さまにお話を
伺いました。



稲宮会の皆さま

「お囃子」で地域を元気づけたい

今年で結成5年目を迎える稲荷町屋台保存会のお囃子連「稲宮会」は、40代から70代の14人と1年生から6年生までの小学生7人で活動しています。

稲荷町の鎮守「神明宮」の祭り行事として行われていた祭り囃子が、さまざまな事情で10年間ほど途絶えてしまった時期がありました。そんな折、「代々伝えられてきた地域の伝統行事を何とか復活させたい」と思った有志が何人か集まり、保存会ができた。

ました。そして、チラシ配布をして、子ども達の参加も呼びかけ、念願のお囃子連が復活しました。

《普段はどのような活動をしていますか。》

・月2回程度、日曜日に公会堂でお囃子の練習等を行っています。

《どのような行事でお囃子を披露しますか。》

・子ども達の太鼓と共に参加する行事やイベントは、地元の神明宮の祭典や、本通りの夏祭り、蓬萊橋の観月会、夕涼み市等があります。獅子舞は大人だけで行っていて、正月の町内回りや、近くの町内のお祭りに呼ばれたり、川根本町の敬老会に呼ばれたこともあります。

《お囃子等はどのように稽古したのですか。》

・お囃子は、島田大祭に参加している知り合い



の方が教えてくれました。獅子舞は、インターネットの動画等を見て、見よう見まねで踊っています。

《立派な獅子頭がありましたね》

・会員の中に、昔、他の地域で使っていたものを保存していた方がいて、獅子舞を始めました。今ではとても貴重な物なので幸運でした。

《活動の中で困っていることはありませんか。》

・次の担い手が欲しいところです。今の6年生が卒業した後のメンバーを探さなければなりません。子ども会の保護者にも声をかけていこうと思います。身近な人から話しているのですが、なかなか難しいところです。

《今後の活動について伺います。》

・多くの皆さんに知ってもらい、「縁起物だからうちにも寄ってほしい」という店が町内に増えうれしく思います。これからも、神明宮のお祭りを中心に、他にも活動の場を広げたいです。

地域の伝統を守りながら、町を活気づける屋台保存会の皆さま！これからもお元気で活躍ください。

定例会 の 概要

一般会計1億1772万4000円を増額

8件の条例改正など可決

平成30年第4回定例会が、11月22日（木）から12月20日（木）まで、29日間の会期で開催されました。

11月22日（木）本会議初日 17議案上程

平成30年度各会計補正予算（一般会計1件・特別会計5件・水道事業会計1件・病院事業会計1件）のほか、条例改正案など3件、一般議案6件を上程しました。

12月3日（月）～5日（水）本会議（一般質問）

15人の議員が一問一答による一般質問を行い、当局の考えについて各議員が質問や提案をしました。

（8～15ページ）

12月7日（金）本会議（議案質疑）

4人の議員が平成30年度補正予算案および一般議案などの詳細について質問をしました。

（5ページ）

12月10日（月）～11日（火）常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会がそれぞれ半日ずつ開催され、付託された議案審査を行いました。

（6～7ページ）

12月20日（木）本会議最終日 追加議案上程12件 計30議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告しました。平成30年8月の人事院勧告により国家公務員の給与引き上げが行われたことを受け、島田市においても国と同様に市職員などの給与の改正を行う予算案7件と条例の一部改正案5件が追加上程されました。さらに議会から意見書の発議案1件を上程しました。定例会初日に上程された17件と合わせて、30議案が全員賛成で可決されました。

Pick up 1

賑にぎわい交流拠点施設を 運営する事業者は？

Q 賑わい創造舎へ出資するところはどこか。

A 平成30年6月29日にJ A 大井川、大井川鐵道(株)、中日本高速道路、島田市による4者包括連携協定を締結した。運営会社である(株)賑わい創造舎が、施設開業までに必要とする経費を約1億円と見込み、J A 大井川が7000万円の出資金で会社を設立した。市の出資については、過去の出資事例に倣い、出資金全体額の10%を目安として1000万円とした。また、他の2者への出資依頼についてはJ A 大井川が行っている。

Q 経営か疵しに対するリスクをどのように考えているか。

A (株)賑わい創造舎の経営計画における財務諸表によれば、開業2年目から黒字を目指しているので、計画どおり年間100万人の来客があり、年間20億円の売り上げがあれば、経営は安定していくと考えている。仮に経営が悪化した場合は、株主として経営立て直しを強く求めていく。

Q 開業後に地域住民からの苦情があった場合は。

A 地域住民の意見を伝える仕組みを構築するようにJ A 大井川に強く求めていく。

Pick up 2

島田市川根温泉ホテルの 指定管理者は？

Q 島田市の指定管理者選定委員会の委員構成および役割は。

A 委員の構成は副市長を委員長とし、市長戦略部長、行政経営部長、施設所管部長、外部委員として税理士、社会保険労務士、元市議会議員の7人である。審査は、応募団体から事前に提出された申請書類に基づき、プレゼンテーションおよび質疑を行い、その後、各委員において評価内容ごとに評価点数をつけ、その評価点数をもとに総合評価点数を算出し、総合評価点数が最も高い者が指定管理者の候補者として選定される。

Q 大井川鐵道(株)の総合評価点数が高かった主な理由は何か。

A 地元雇用を最優先に考えとともに、魅力的な新しい観光素材の発掘等、地域活性化につながる取り組みを積極的に行っていく計画になっていること。また、宿泊とSL乗車券とのセット販売や、多様化する海外旅行者の集客の提案があること。さらに、大井川鐵道(株)のグループ会社であるエクリプス日高(株)、静内エクリプスホテルで培ったノウハウを生かし、朝食内容を充実して顧客満足度を高める計画となっていることなどが主な理由と思われる。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。11月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

4月から

ローズアリーナの利用率等改正

平成30年度
一般会計補正予算

●債務負担行為補正

Q スクールバス運行管理委託の増額理由は。

A 五和小学校区の延伸に伴い燃料費、人件費の増。

●備品購入に要する経費

Q 総合スポーツセンターの備品購入費700万円増額補正の理由は。

A 2019年6月に受け入れるシンガポール国卓球競技の事前合宿に伴う卓球台8台(300万円)、マット8台分(400万円)の購入について、平成31年度当初予算では納期に間に合わないため。

島田市総合スポーツセンター条例の一部を改正する条例



オリンピック公式卓球台がローズアリーナに

Q 条例の概要は。

A ローズアリーナの冷暖房設備の導入に伴い、その利用料の上限等を設定するとともに、卓球場の利用区分の変更などを行うための一部改正。

Q 狭いサブアリーナの利用率が高い理由は。

A サブアリーナの空調設備は対流式だが、メインアリーナは放射式システムで対流よりも消費電力がかなり少なく安価となるため。

経済建設常任委員会

川根温泉ホテル

指定管理者代わる

平成30年度
一般会計補正予算

●(株)賑わい創造舎出資金

Q 1000万円出資したあとのスケジュールは。

A 出資決定後、取締役会で定款の変更。運営については市から取締役会への出向は考えていない。

Q ほかに出資をするところはあるか。

A 大井川鐵道(株)をお願いをしている。

指定管理者の指定について(島田市川根温泉ホテル)

Q 指定管理者が(株)時之栖から大井川鐵道(株)に代わるが、どのようなポイントで選考に差が出たか。

A 大井川鐵道(株)の親会社であるエクrips日高(株)が



台風24号で破損した蓬萊橋修理へ

運営しているホテルのノウハウを生かしての朝食がポイントである。

市道路線の認定について

Q 現地には図面に載っていないでつぱりがあったが、堤防の一部なので削れない部分がある。反射材等で事故防止に努める。

改元に伴うシステム改修の準備の対応状況は

平成30年度
一般会計補正予算

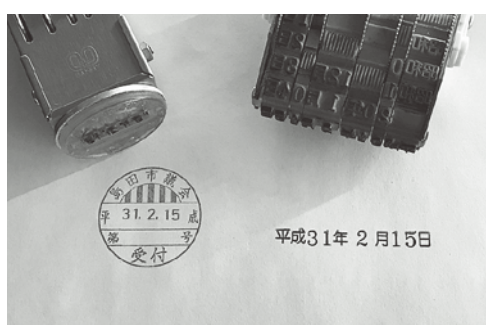
● 電算機器維持経費

Q 改元によって、市民生活や行政運営に影響はあるか。

A 電算システムの関係については、市民生活に影響が出ないような形で新元号に対応するための改修等を行う。行政運営に関しては、市民が使用する申請書などの様式の修正が必要になってくるため、元号を表記した受付印の作製等が必要となってくると思われ、混乱が生じないような対応をしていきたい。新天皇の即位に伴い、ゴールデンウィークの10連休の間に、市役所業務の調整を図り、広報等で早めの周知をしていきたいと考えている。

Q 改元に伴うシステム改修経費の財源措置について伺う。

A 国・県等から財源措置についての通知はなく、一般財源で対応するという考えである。



改元に伴い事務用品も買い替えが必要

視察報告
平成30年12月5日(水)

新病院建設現場を視察

厚生教育常任委員会では、2021年3月の開院を目指し平成30年4月から始まった新病院建設工事について、11月から杭・基礎工事が始まった現場を視察しました。

当日は、浄化槽棟の建設状況や新病院本体に係る杭・基礎工事の状況について説明があり、11月末時点の工事進捗率は4・2%との報告を受けました。

その後、現場にて担当者から工事の状況および既存病院の仮設通路の工事状況等の説明を受けました。

今後も、騒音や振動など、近隣住民や入院患者へ配慮していただき、安全第一で工事を進めてもらいたいと思います。



本誌第66号(9月定例会号)に掲載しております記事中、下記のとおり表の一部が間違っておりましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。

6ページ左下

【誤】

	平成29年度末残高	平成28年度末残高
市債	392億 855万円	410億2,732万円
基金	138億7,818万円	130億1,645万円



【正】

	平成29年度末残高	平成28年度末残高
市債	392億 855万円	410億2,732万円
基金	130億1,645万円	138億7,818万円

市長に質す^{ただ}！

一般質問

Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会11月定例会では、15人の議員が個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質問を行いました。今号では、15議員の個人質問の内容の一部を紹介します。

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



ICTの活用と課題は何か！



すぎの なおき 杉野直樹 議員

Q 電子化された個人情報やセキュリティー対策については、どのような取り組みが必要か。

A 人的・技術的・物理的対策の全ての観点で取り組む必要がある。人的対策については、どのような情報資産を、どのような脅威から、どう守るのかという基本的な考え方と、情報セキュリティを確保するための体制、組織、運用等を定めた情報セキュリティポリシーの策定、セキュリティポリシー体制の整備、情報セキュリティ監査の実施、セキュリティ教育などが挙げられる。技術的対策については、ウイルス対策やシステムなどへの不正な侵入を防ぐアクセス制御、さらに住民基本台帳ネットワークシステム・全庁LANシステムとインターネットの相互接続を遮断するネットワークの分割や、県と市町が行っている自治体情報セキュリティクラウドなどが挙げられる。

物理的対策については、1つの要素だけで認証していたものを2つの要素とすることでセキュリティの強化を図る2要素認証や、監視カメラの設置などが挙げられる。

Q ICTの活用について、市がこれから考えている施策はあるか。

A 現在、デジタルマーケティングの手法を行政経営に活用する体制づくりを進めている。



国が地方創生を情報面から支援するサイト

放課後児童クラブは「質」の充実を



ふじもとよしお 議員
藤本善男

Q 放課後児童クラブの定員数と登録者数はどのような状況か。

A 定員数は1040人、現在の登録者数は738人だが、8月時点では901人が登録していた。

Q 対象児童の範囲を高学年に拡大したが、利用状況はどうか。

A 小学4年生から6年生は現在48人が利用している。8月時点では112人が利用していた。

Q 当初計画では平成31年度に利用見込みを上回る施設定員数を確保する予定だが、現状は。

A 現在受付中のため、次年度の件数は不明だが、申込者数は今後増加が予想されている。

Q 現在の利用者ニーズと今後の課題は何か。

A 待機児童の解消や利用時間拡大がニーズだが、必要とする指導員の不足が課題となっている。

Q 長期休暇や土曜日など、朝の受け入れ時間で困っていると聞か、大きな課題ではないか。

A 現在の受付は8時半だが、利用

者は7時半からの受け入れを希望している。指導員不足により保護者に苦勞をかけている。

Q 小学校入学前の子育て支援メニューは充実してきたが、入学した途端、なんとかならないか、という声上がる。指導員不足は解消できないのか。

A 長期休暇中はアルバイトや給食配膳員、学校支援員の短期採用を今後も考えていきたい。



申込者の伸びが続く放課後児童クラブ

実効性のある文化芸術推進計画に！



もり しんいち 議員
森伸一

Q おおるりなどの施設を拠点とし、市の芸術文化づくりをどのように進めようと考えているか。

A 現在策定中の文化芸術推進計画の策定作業において検討を進めていく。

Q この計画は文化全般、広い範囲を対象としており、この中で文化活動の振興、創造の拠点となるようなシステムを作る具体策が入ってくるか心配になる。私が視察した小平市の文化振興の基本方針には、文化振興財団が市全体の文化のけん引役として活動するとともに、幅広い文化事業を包括的に展開、市民の文化活動の支援に努めていく、といったことが書かれている。推進計画作りの参考にしてほしいか。

A 参考にして、島田市の推進計画を作っていきたいと思う。

Q 焼津市民文化センターは昭和60年度に完成をして今年で築33年であり、近い将来、築27年の焼

津市大井川文化会館ミュージコも含めた再編方針を作ることが予想されるが、市の対応はどうか。

A 本市の文化芸術推進計画が策定され、文化芸術に関するプログラムが実施され施策が定着したころに、広域での施設再編というものを考えていかなければいけないと考えている。



「吹奏楽のまちこたいら」市報より

オール木材で 新市民会館建設を！



ふくだただお 福田正男 議員

Q 新市民会館建設の意思はあるか。
A 市役所周辺整備基本構想では、新たな文化施設を整備すること

について、新庁舎の整備と同時期の事業化は困難である。プラザおおりの建て替え時期に合わせた事業化を検討していく。

Q 当市で木造市民会館を建設した場合のメリットとして、1つ目は、「木造のコンサートホールが島田市にあり」という全国発信することで、島田市をアピールでき、能や歌舞伎などをやりたいという人が出てくるかもしれない。2つ目は、駅から近く、商店街を通るため、中心市街地の活性化につながり、地域経済に貢献できる。3つ目は、木材産業が活性化することによって、森林整備が進み地球温暖化防止にもつながり、雇用が増え移住・定住につながる。4つ目は、視察や観劇利用者が増え観光交流人口が増える。5つ目は、島田市の文化の発展交流の場とな



庁舎建て替えに伴う木造市民会館の建設は

る。6つ目は、木造のコンサートホールは音響が良く低燃費かつ快適である。7つ目は、いざというときの災害復旧対応拠点となる。早期の事業着手が必要と考えるがどうか。

A プラザおおりを当面使い続けると言っていて以降、私（市長）のところに、特段の反論や何となく市民会館を建てろという意見は1件も来ていない。

幼児期における 自然環境での体験を



おおむらやすじ 大村泰史 議員

Q 自然保育（森のようちえん）の全国的な取り組み状況をどのように捉えているか。

A 豊かな自然環境を活用した自然保育の理念が全国的に認知されてきていることは承知している。屋外での遊びや体験を中心とした自然保育は、子どもの自主性を引き出し、自己肯定感を高め、社会性、創造性などを伸ばす保育活動の一つとして有効であると認識している。

Q 多くの保護者から自然保育の要望が寄せられた場合は、どのような対応を取る予定か。

A 保育園や認定こども園等については、要望を踏まえて、園の方針に基づいて保育・教育等を行うことになる。なお、各園、市内の私立保育園、市内の市立保育園等への情報提供は行っていない。また、講師の方々があれば、自然保育について学ぶ機会なども設けられたらと考えている。



公園に幼児用遊具増設を望む声を聞く

人材育成の取り組みは

Q 人間を相手にする現場での体験を通じて現場を知ることが、職員の資質の向上につながる有効な手段だと思うがどうか。

A 一般的には考えの幅が広がり、優先度や緊急度、また実践的な対策を考えていく上で、有効な機会になると思う。

島田市教育センターの役割とは



よこやまかおり 議員
横山香理

Q 島田市教育センターの概要は。

A 児童・生徒の学校および家庭における問題や悩みについての相談と、不登校や特別な支援を要する児童・生徒への支援を行っている。

Q 適応指導教室「チャレンジ教室」とはどのようなものか。

A 不登校の児童・生徒が学習習慣や安心して人と関われる力等身に付け、学校に復帰できるように支援を行う教室である。

Q 教育センターに寄せられる相談はどのようなものか。

A 教育相談として平成29年度は478件で相談者は保護者が341件、児童・生徒が72件。内容は不登校が一番多く173件、発達障害・特別支援に関わるものが82件と多い。

Q 10年間の島田市の不登校の動向はどうか。

A 平成22年が100人でそれから減少していたが、平成28年から上昇傾向となり、昨年は108



適応指導教室「チャレンジ教室」の一角

人と最多を記録している。

Q チャレンジ教室の職員は何人か。

A 3人でそのうち2人は教員免許を持っていない。学習支援は無理のないよう学校現場からの要望を聞きながら対応している。

Q 自己肯定感を高める取り組みはあるか。

A 自然体験・スポーツ体験や仲間と活動する楽しさ・自信が改善の足掛かりになることもある。

「フレイル」って知ってますか？



よこたがわまさと 議員
横田川真人

Q 健康な状態と介護状態の中間に当たる虚弱な状態、いわゆるフレイルについて、市の認識はどうか。

A 加齢とともに現れる心身機能の不具合があっても、適切な介入支援により、生活機能の維持向上が可能な状態を意味し、高齢者にも使う言葉である。

Q 周知方法および対策事業は何か。

A 地域活動による居場所づくり、「しまトレ」や健幸アンバサダーによる口コミなどでの周知を実施している。活動量が増えることで介護予防の効果が期待できる。

Q 若年層における筋力の低下についても目を向けてみてはどうか。

A 日常生活の中で使う筋肉を意識している方はほとんどいない。市で若い方に筋肉についての指導は考えていない。

Q まず発見することが大事ではないか。

A 生活習慣や、運動習慣に関する



若者がやっても効果抜群「しまトレ」

情報、将来のフレイル予防に向けた情報を、例えば、チラシを作った渡すというようなことは検討してみたい。産業まつりなど、各地域で開催されるイベントに、保健師が出向く機会があるので、そういった機会を捉えて情報提供も併せて行っていくことはできる。

このままでは 島田市は破綻する？



やまもとたかお
山本孝夫 議員

Q 平成29年度決算で市税収入が0・2%増にとどまった原因は何か。

A 市民税全体で0・5%増にとどまり、固定資産税は地価の下落が影響し、1・0%減となった。

Q 税収増については重点施策である賑わい交流拠点整備事業と旧金谷中学校跡地利用事業で平成33年以降最大4000万円が見込まれると説明があったが、主な歳出である扶助費は平成29年度決算から見ても毎年2億〜3億円増で推移している。前定例会では市として何もしないわけではないと答弁している。来年度はどんな税収増施策を行うのか。

A 平成30年9月の実施計画に示した通り、金谷地区の2施設の事業を予定通り進め、さらに定住促進施策を重点とし、地道な取り組みをしていきたい。

Q これから新病院、新市庁舎の建設があり、基金を取り崩している。



緑茶化計画が島田市税収増につながるか

く中で毎年度の税収の伸びがなくては明るい見通しにならない。どういった税収増施策で市がどのような生き方をしていくか市長から具体的に発信すべきではないか。

A 柔軟な発想で市政運営の改革を図る。財政運営には痛みを伴うことも理解してほしい。行政の改革、政策は簡単にすぐに結果が出るものではない。

自助・共助で災害対策を強化



おおぜききよこ
大関衣世 議員

Q 台風24号の災害対応の課題は何だったか。

A 停電時の通信手段の確保、停電情報の伝達方法、停電の原因となる倒木を防ぐための事前伐採をどのように進めるかである。

Q 課題への改善は始めているか。

A 孤立予想地域40力所に配備している衛星携帯電話の活用訓練を実施した。情報伝達方法としては、消防ポンプ車での広報や各戸にチラシ配布を実施する。事前伐採は、中部電力や自治会、関係各所と協議を進めている。

Q 中山間部で同報無線が聞こえなかったことへの対策はどうか。

A 市民からの申し出の都度、出向いて調整したが、完全には解消できない。放送内容を電話(3715600)で知らせるシステムを始めている。

Q 地域で行う防災訓練へのアドバイスは行っているか。

A 今年、市独自の参考書を作成し全自主防災組織に配布した。



申請中の犬間地区のヘリポート用地

Q 防災ガイドブックに携帯用トイレの備蓄等の情報を入れ刷新してはどうか。

A わかりやすい形に改定していきたいと考えている。

Q 孤立を防ぐため、自主的にヘリポートを整備した地域もある。訓練で活用していったらどうか。

A 県に臨時ヘリポートとして使えるよう申請中だ。来年度の訓練実施も要望している。

今後3年間の実施計画 付加価値追加



かわむらのはるお 議員
河村晴夫

Q 新病院内に休日急患診療所を移設するが、詳細と休日の薬局の対応はどのようにするのか。

A 現在の検診センター1階の急患診療所に、診察室・受付・待合室・医師等の休憩室を含め移設する。広さは約61平方メートルから約72平方メートルとなる。薬局は5店舗だったが、現在は1店舗休業し、4店舗で、当番制で対応している。

Q 新病院の休日急患診療所で、薬の処方できないのか。

A 予算の問題もあるが、具体的に話があれば、薬剤師会とも相談していく。

Q 個人番号カード交付事業で、平成31年度から行政サービスセンターにおける申請受付開始とあるが、どこで開始となるか。また、0・5%増の普及率で2890万円の予算とあるが、交付作業にこれだけかかるのか。

A 来年度から、初倉および六合行政サービスセンターの2カ所



個人番号カードと調剤された薬剤

開始する。地方公共団体情報システム機構に支払う費用として1982万円を予算化している。

Q 個人番号カード取得率向上の取り組みとして、島田市オリジナルで、中学生の卒業記念に配布、図書館カード・温泉利用サービス・蓬莱橋無料等付加価値を付けるなどできないか。

A 今後の実施計画策定の際に、見直しを含めて検討したい。

市民会館を造る本気度は どうか？



さの よしはる 議員
佐野義晴

Q 市民会館を解体した後、市民に意識調査を行った。会館を必要とする市民ニーズが大勢を占めた場合に、それに応える手立てや財政余力はあったか。

A 市民会館単体で整備を行う決定はなかった。財政的な余裕はない。当面は既存施設を活用。

どうなる新幹線空港新駅

Q 富士山静岡空港の就航路線の拡大やダイヤ見直しを望む市民の声は非常に多いと聞くが。

A 利用者の要望に応じた路線の拡大やダイヤ設定の可能性は高い。
Q 空港新駅設置に関する動向は。
A 「新駅設置期成同盟会」の決定を踏まえ、市はあくまでも空港直下駅での整備を結論とする。

Q 空港駅を設置する運動において、請願駅かそうでないかで、活動の方法が違うはずだが、どうか。

A 請願駅として整備を進める考えはない。県議会で事業費400



民営化で飛躍が期待される「富士山静岡空港」

億円強とする発言があったが、請願駅の場合、市の負担額は200億円以上になるため、市独自の運動や取り組みは考えない。
Q 県知事が、「リニア新幹線開業の2027年をめどに、新駅を開設する」旨のニュースがあった。市長はどのように受け止め、どのような協議をしているか。

A 知事の強い意志を示した前向きな意見だと思うが、市として具体的な協議はしていない。

非正規職員の働き方 外部委託はノー



さかい ようこ 議員

Q 現在の非正規職員の人数は。

A 10月1日現在、市民病院を除いた人数は嘱託員339人、臨時職員137人で合計476人。

Q 国の法改正により、2020年4月から非正規職員の多くが1年の任用期間を明確にした会計年度任用職員制度に移行するが、継続雇用はどうなるのか。

A 1年ごとに職員採用をすることとされ、採用試験を行い、結果として同じ人が1年以上継続して任用されることが認められる。

Q この制度の導入に先立ち、市では非正規職員が担っている業務を民間事業者に包括委託する方針だ。人材派遣ともいえる公務の外部委託を進める理由は何か。

A 会計年度任用職員には、働き方により、新たに一時金や退職手当等が支給され、1・4倍から1・6倍の人件費がかかる。包括委託した場合、人件費は抑えられる。逼迫する財政状況の中で、市民サービスをより向上で



すでに委託している市民課窓口

きるよう、市の業務のあり方を見直す方法として、外部へ委託しようとするものだ。

Q 非正規職員は、一般事務以外に保育士、給食調理員、図書館職員、学校支援員、消費生活相談員など、専門的・恒常的業務を担ってきた。包括委託すべきではないと考えるが。

A 業務内容、形態等一部できないところもある。個別に精査する。

南北交流の促進を 駅前広場の活用へ



むらた ちづこ 議員

Q 駅前広場をより活用するために公認イベント等の企画を仕掛けるマネジメントの窓口設置を。

A すぐやる課が施設管理・使用届出書の窓口として対応しており、現在のところ考えてはいない。

Q 周辺への騒音等に配慮したルールを示す利用マニュアルも必要と考えるがどうか。

A 今年度6月に島田駅南北自由通路および駅前広場の利用要綱ができており、それに沿った形で市民に有効に活用してほしい。

Q 南口階段には蓬莱橋を模して設置された通路がある。897・4茶屋へのアプローチも含めた周知看板の設置はできないか。

A 高さ上、通路には難しいが、駅前広場にできないか協議する。

Q 蓬莱橋同様に、模した通路に夜間に電気の点灯はできないか。

A 看板同様に協議する。

Q 来年度は島田大祭イヤーと位置づけ、機運を盛り上げるよう早期から駅前広場で関係する企画

をしてはどうか。

A 観光客の来訪につながるように関係団体と協議していきたい。

Q 大祭最終日、本通りに大名行列が不在のときの観光客の待ち時間などに、南北駅前広場を活用して市内のお祭りの紹介を兼ねた芸能大会や島田大祭ミニ講座等の企画を実施してはどうか。

A 協力いただく関係団体と協議しながら、検討したい。



第9回駅南フェスタ（南口階段広場を活用）

マルシエの運営は 政官財民で！



やぎのぶお 議員
八木伸雄

- Q** 新東名ICの賑わい交流拠点施設（マルシエ）の運営形態は。
- A** 農協が7000万円の出資で運営会社を設立した。市も1000万円を出資する予定である。
- Q** 民間のノウハウや幅広い観光の情報発信には、大井川鐵道株やNEXCO中日本の協力が必要と考えるがどうか。
- A** 出資や協力を求めていきたい。
- Q** J A大井川の経常利益は5年間で半減した。貯金保有高は最高だが日銀の金融政策ではさらに厳しくなる。農業振興による農業者所得向上の改革に舵を切った。市もマルシエの農産物出荷の生産支援に取り組みべきだ。時限立法でもよい。市単独の利権勝手の良い補助を求める。
- A** 国・県の事業を積極的に活用する。
- Q** 台風24号の残した課題は
- A** 今回と同様の停電は過去にもあったが、これほどの問題は起



川根路の玄関口にSLの活用を

- Q** きなかつた。違いは何か。
- A** 市民への情報伝達が不十分であったと考える。
- Q** 停電復旧の情報がなく混乱した。今後の対応は。
- A** 衛星電話の交信は川根支所と1回あった。今後、情報伝達のための訓練をしていく。
- Q** 災害本部と支所、学校など、各部署の情報の共有も課題だ。今後、対応策を検討していく。

人工透析患者の現状と 新庁舎建設は



さいとうかずと 議員
齊藤和人

- Q** 当市の人工透析患者は何人か。
- A** 平成30年10月診療分で約260人。市外の医療機関で透析を受けた人は約130人で、市民病院で受けた人は65人である。
- Q** 透析患者のタクシー券の助成は。
- A** 1回1000円を上限として利用料金の2分の1を助成、年150枚を上限としている。
- Q** 近年の市内の人工透析患者に対する取り組みは。
- A** 市民病院では平成24年以降、人工透析病床の整備はされていない。腎臓内科では、腎臓機能の維持や向上、重症化の予防などの治療を行い、糖尿病・内分泌内科では、糖尿病の進行の防止や栄養指導を行っている。
- Q** 今後の対策は。
- A** 新病院においては、人工透析病床を21床から30床に増床し運用する。その後、さらに増床し、200人を超える患者の透析が市内の医療機関で可能になる。
- Q** 新庁舎建設計画は
- A** 庁舎建設のスケジュールは。平成30年度中に、整備基本計画を、2019、2020年度に基本設計、実施設計を行う。2021、2022年度で建物本体の建設工事を完了する。
- Q** 木材の利用については。
- A** 家具や内装などに木材利用を図り、地元産材の活用も検討していく。



人工透析には約3時間かかる

所管事務調査報告

調査報告

経済建設常任委員会

まちづくりの参考に

● 8月9日 鳥根県松江市

中心市街地活性化の事例

カラコ口工房およびカラコ口工

リアを視察しました。中心市街地にある旧日銀支店を市民の保存運動を契機に再利用する計画がまとまり、カラコ口工房として再出発したものです。現在は指定管理者制度を導入し、NPO法人松江ツリーズム研究会が管理しています。また、近くの商店街が自前で舗装のやり直しとアーケードの撤去を行い、それに付随して松江市で橋の改修とカラコ口広場の整備を行いました。

● 8月10日 鳥取県鳥取市

賑わいをつくるには

鳥取県鳥取市の街なか賑わいのまちづくり実証事業を視察しました。駅前の交通量の減少を見据え4車線ある道路のうち、2車線に芝生を敷き、人が集まるスペースとしました。事業期間中は10万人



カラコ口工房入口にて

の来場者がありました。近隣商店では売り上げが減ったという店舗が多かったそうです。また、道路を使用するので、警察との協議に苦労したとのことでした。

歴史や文化など、地元根差しているものを利用すると市民にも受け入れられやすく、単発のイベントのようにしてしまうと、かえって逆効果になることもあると感じました。

調査報告

厚生教育常任委員会

地域で幸せを実感できるまちに

● 10月2日 福井県高浜町

奇跡の高浜モデルとして注目

政策課題である医師確保に向け医療再生の取り組み（医師不足を10年で解消）について調査・検証。全国へ健康のまちづくりの推進に「赤ふん坊や」と共に情熱をささげておられる井階友貴先生から医師確保の必要条件・住民主体の医療づくり・地域主体の健康のまちづくりなど、町全体で取り組んできた経緯を伺いました。当市においても、鳥田市地域医療を支援する会が10年前に発足し、住民主体の医療づくりに貢献されています。新島田市民病院に確実に医師が確保できるように、議会としても提言できればと思いました。

● 10月3日 滋賀県東近江市

生活困窮者への支援対策

近年、当市としても生活保護受給者数や要保護児童数が年々増加傾向にあることから、国の生活困



赤ふん坊やも健康のまちづくりに奮闘中

窮者自立支援モデル事業を積極的に取り組んでいる生活困窮者への支援および子どもの学習支援の実態や課題を調査・検証。生活困窮者支援は自立相談・家計相談・就労準備支援があり、当市はまだ家計相談事業は実施されておらず、早期に取り組む重要性を学びました。両市への視察を終え、地域で暮らせる幸せが実感できる市を目指すために、先進的な取り組みを今後の施策に生かしていきたいです。

市民が望むコミバス事業に応えるには

●10月22日 茨城県日立市

公共交通空白地有償運送事業

日立市中里地区の現在の人口は1200人弱で、高齢化率は53・5%です。平成19年に、日常生活などの交通手段の確保が問題となり、学区内に検討委員会を設置して、地区内10カ所で説明会を行い、その間に試験運行を平成21年6月まで実施し、7月にNPO法人「助け合いなかさと」を設立しました。運行体制は8人乗りワゴン車2台で、デマンド運行を行い、利用料は300円となっています。

ICTを活用した中山間地域づくり事業

●10月23日 福島県会津若松市

会津若松市港地区では、移動手段を必要とする対象者が広大なエリアに点在しており、小需要に応じた交通システムの検討とICT活用を踏まえ地区内500世帯を

モデルに、テレビをモニターとして行政情報、地域情報、防災情報等の「みなとチャンネル」の設置を行っています。

島田市でも中山間地域や高齢者の交通手段確保のため、福祉的役割を含め、両市のように行政と市民が協力し、住民全体で実施ができるよう働きかけをしていく必要があると考えます。



地域の住民で自主運営する「なかさと号」

議会活動レポート①

10/25
(木)

～未来の島田市の

まちづくりについて語り合う～

平成31年度の市行政に関する要望について、商工会議所と市議会で意見交換会を開催しました。

まず、商工会議所から平成30年9月25日に市長に提出した「平成31年度の市行政に関する要望書」の内容について詳しい説明がありました。新規の要望として、観光施策の展開、島田「さくらめし」開発に係る補助制度の創設、情操教育じょうそうを受けられる体制づくり、在宅医療・介護連携における支援体制の充実が挙げられました。意見交換では、今後の島田市のまちづくりについて熱く語り合うことができ、有意義な意見交換の場となりました。



議会との意見交換会

11月10日に市内3カ所・17日に1カ所で、「各地域で課題となっていること」などをテーマに、市民の皆さまと「議会との意見交換会」を開催しました。延べ150人にご参加いただき、議員と市民の間で市政に対する活発な意見を出し合う場となりました。

会場 島田市役所会議棟大会議室

参加議員 平松吉祝・伊藤孝

横山香理・村田千鶴子

森伸一

参加者数 45人（男性42人、女性3人）

意見交換の内容

- ・島田大祭について
- ・市民が利用しやすい市庁舎とは？



会場 大津農村環境改善センター

「山王」大会議室

参加議員 佐野義晴・横田川真人

河村晴夫・曾根嘉明

桜井洋子

参加者数 54人（男性47人、女性7人）

意見交換の内容

- ・地域防災について
 - ・市政全般について
- （自由な意見交換）



会場 山村都市交流センター

「ささま」研修室

参加議員 大石節雄・大関衣世

齊藤和人・藤本善男

八木伸雄

参加者数 30人（男性29人、女性1人）

意見交換の内容

- ・公共交通について
 - ・市政全般について
- （自由な意見交換）



会場 かなや会館大集会室

参加議員 清水唯史・大村泰史

杉野直樹・福田正男

山本孝夫

参加者数 21人（男性19人、女性2人）

意見交換の内容

- ・アウトレットモール（旧金中跡地）周辺整備について
- ・旧金谷庁舎の跡地利用について



意見交換会で出されたさまざまなご意見や情報は、一般質問など、議会の活動に活用させていただきます。参加者の皆さま、ありがとうございました。

※各会場の報告は市議会ホームページでご覧いただけます。

市当局に市政に対する「提言書」を 提出しました！

平成30年12月20日に、3常任委員会において、約1年に及ぶ政策課題に関する調査・研究をまとめた、市政に対する「提言書」を市長に提出しました。

内容は次の6項目です。

- ①交通弱者対策（デマンド交通・自主運行バス）について
- ②移住定住促進対策について
- ③田代の郷整備事業について
- ④島田市民病院の医師確保について
- ⑤中心市街地活性化について
- ⑥賑わい交流拠点整備事業について



※各提言の詳細は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。

意見書を採択しました

地方議会では、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。

11月定例会では、次の1件の意見書を全会一致で可決し、国会および関係行政機関に提出しました。

公立病院の医療充実を求める意見書

- 1 新専門医制度の開始により都市部に集中した専攻医や、診療科の偏在を解消するよう早急に制度の見直しを行うこと。
- 2 新医師臨床研修制度の開始以来続いている医師の偏在を解消するため、医師不足地域への勤務を促す制度を設計し、地方医師不足に歯止めをかけること。
- 3 地域医療の中核を担う自治体病院の経営を安定化させるため、小児医療、救急医療、精神科医療、周産期医療等に対し、財政措置の強化を図ること。

※これは意見書の要約です。提出した意見書全文は、市議会のホームページまたは市役所の情報公開コーナーでご覧ください。

11/15
(木)

～島田金谷IC周辺 賑わい交流拠点整備説明会～

2020年5月頃に、島田金谷IC周辺に整備が計画されている「賑わい交流拠点施設」と(株)賑わい創造舎設立について、大井川農業協同組合主催の説明会が開催され、全議員が出席しました。担当者から、基本コンセプトや目標、運営方法などに関する説明があり、島田市の新たな観光拠点について理解を深めました。



編集後記

議会だよりでは、毎回団体向けに取材を行っており、そこで取材した内容を議会だより表紙、2・3ページに掲載しております。

取材先の選定と記事の執筆は、各常任委員会にお願いしており、前は経済建設常任委員会が担当し、今回は厚生教育常任委員会が担当しました。

取材先については、社会的な活動をしている団体を対象としております。

次回はあなたの団体に取材をお願いするかもしれませんが、その時は快くお受けいただきますようよろしくお願いいたします。



平成31年1月28日 東京都多摩市議会において所管事務調査実施

議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 杉野 直樹
- 【副委員長】 清水 唯史
- 【委員】 大関 衣世、大村 泰史、河村 晴夫、齊藤 和人、横山 香理

2月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！
傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
2/10	11	12	13	14	15	16
	振替休日			本会議 (初日)	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会 (午前・総務生活 午後・予備)					
24	25	26	27	28	3/1	2
	本会議 (予算説明会)					
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (一般質問:代議・個人)	本会議 (一般質問:個人)	本会議 (一般質問:個人)		
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務生活)	常任委員会 (予備)	
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
				本会議 (最終日)		

☆開会時間は…
本会議および3/12～14の常任委員会は9時30分、2/15・18の常任委員会は9時開会です。

あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。